

近藤嘉宏デビュー20周年記念特別企画

フランツ・リスト 伝説のピアノリサイタル

F R A N Z L I S Z T I N K I E V 1 8 4 7

キエフ 1847



ピアノを弾くリストに熱狂する女性たち テオドール・ホーゼマン1842年

歴史的再演！ 鍵盤の魔術師リスト「伝説のリサイタル」が、いま蘇る。

19世紀ヨーロッパを制覇した「史上最強のピアニスト」フランツ・リスト。

8年間、1000公演という驚異的なコンサートツアーは、ヨーロッパ中を熱狂と興奮の渦に巻き込みました。

そのツアーの最終年となった1847年は、リストのピアニストとしてのラスト・イヤーでもありました。

その年の1月23日。ロシアのキエフで行われた伝説のピアノ・リサイタルを、当時のプログラムをもとに忠実に再演！

日本が誇る人気ピアニスト近藤嘉宏と、話題のリスト本『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』の

著者、浦久俊彦による迫真のトークとともに、伝説のリサイタルが、いま蘇る。



出演○

近藤嘉宏 [ピアノ] 浦久俊彦 [トーク]

プログラム○構成案

第1部○鍵盤の魔術師リスト～珠玉の名曲と生涯

リスト『愛の夢第3番』『ラ・カンパネラ』ほか

第2部○歴史的再演！リストのピアノ・リサイタル

1847年1月23日キエフ リサイタルプログラムより

公演料○お問い合わせください

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638 担当：岩永

浦久俊彦事務所 03-6435-0443 担当：成田

企画・制作：浦久俊彦事務所 コンサートマネージメント：ミリオンコンサート協会

フランツ・リスト 伝説のピアノリサイタル

FRANZ LISZT IN KIEV 1847

キエフ 1847

プログラム



「リスト ピアノの夕べ」プログラム
1847年1月23日 キエフ

第1部○鍵盤の魔術師リスト～珠玉の名曲と知られざる魅力

トーク「5分でわかる！リストの生涯」「リスト～その実像」ほか
リスト『ハンガリー狂詩曲第2番』
リスト『愛の夢第3番』
リスト『ラ・カンパネラ』ほか

第2部○歴史的再演！リストのピアノリサイタル・イン・キエフ1847

トーク「ピアニスト・リストの全貌」「史上空前のツアー」ほか
ドニゼッティ/リスト：歌劇『ランメルモールのルチア』よりアンダンテ
ベッリーニ/リスト：歌劇『ノルマ』の主題による幻想曲
ベートーヴェン：アンダンテと変奏曲～ピアノ・ソナタ第12番より ほか

プロフィール

近藤嘉宏〔ピアノ〕



桐朋学園大学を首席卒業。ミュンヘンに留学し、ゲルハルト・オピッツ氏のもとで更なる研鑽を積む。1987年、日本音楽コンクール第2位。92年、ミュンヘン響との共演でデビューし、大成功を収める。

国内では96年にCDデビューを果たし、一躍注目を浴びる存在となる。以来、数多くのレーベルより、ソロ、協奏曲、室内楽と多岐に渡る20タイトル以上のCD及びDVDをリリース。98年から2008年にかけてフェスティバルホール（大阪）において行った、合計20回に及ぶリサイタルや、ショパン没後150年を記念して全国各地で行ったツアーは絶賛を博し、驚異的な動員数を記録した。2001年、チョン・ミュンフン主宰「セブン・スターズ・ガラ・コンサート」において、チェロのジャン・ワンと共演。05年にはデビュー10周年を記念し、サントリーホールとザ・シンフォニーホールでリサイタルを行い高い評価を受けるなど、着実にキャリアを積み重ねている。これまでに数多くの国内外のオーケストラに客演し、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、外山雄三の各氏をはじめとする数多くのマエストロと共演を重ねている。04年にカーネギーホール、06年にはウィーン・ムジークフェラインでリサイタルと、海外の主要ホールにも相次いでデビュー。10年にプラハで行われた“International chamber music festival Euroart Praha”に出演、マルティヌー弦楽四重奏団と共演し、高い評価を得た。現在、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲録音を進行中。

1961年（昭和36年）生まれ。作家、音楽プロデューサー。高校卒業後に渡仏。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に作曲・執筆、プロデューサーとして活躍。作曲家としては、フランスなどの放送局の音楽制作、朝日新聞社など企業CMの音楽制作を担当。プロデューサーとしては、欧州での芸術祭の企画・プロデュースに加え、M.O.F.（フランス最優秀職人）の活動支援など、フランス伝統文化の幅広い振興にも努めた。2003年帰国。ピアニスト仲道郁代との数々のプロジェクトをはじめ、多彩なコンサートの企画・制作を担当。ショパン生誕200年を記念して企画された『ショパン鍵盤のミステリー』は、東京、名古屋、神戸、福岡など、全国十都市以上で開催された。2007年、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターに就任。同ホールを世界に通用するコンサートホールに成長させた手腕は高く評価された。2014年、独立して浦久俊彦事務所を設立。2013年12月に出版された著書『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』（新潮社）は、アマゾン音楽部門でベストセラーになるなど、大きな話題を集めた。



浦久俊彦〔トーク〕